東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

決算補足説明資料

2023年3月期（2022年度）第３四半期決算概要

2023年2月9日

日本タングステン株式会社

目次

2023年3月期（2022年度）第３四半期業績概要

1. 当社のターゲット市場と事業セグメント
2. 今回発表のポイント
3. 連結業績の概要
4. 主な経営指標
5. セグメント別の状況
6. 財務の状況（連結）
7. 今後の見通し

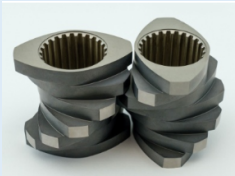
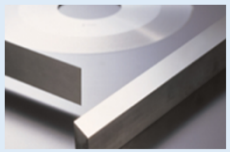
参考資料

1. 業績の推移（連結）

2023年3月期（2022年度）
第3四半期　業績概要

１．当社のターゲット市場と事業セグメント

４つのターゲット市場にコア技術を生かした製品群を投入。

ターゲット市場	事業セグメント別の注力製品	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	ハードディスクドライブ(ＨＤＤ)用磁気ヘッド基板 世界 No.１ｼｪｱ(当社調べ)	プラズマ電極
自動車部品市場	 二軸押出機用部材 （コンパウンド混錬機用） 新商品	ＥＶリレー用接点 抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)
産業用機器・部品市場	 産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品	ブレーカー用電気接点
衛生用品機器・医療用部品市場	ＮＴダイカッター 国内 No.１ｼｪｱ(当社調べ) 世界 No.２ｼｪｱ(当社調べ)	医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品

２．今回発表のポイント

2023年3月期（2022年度）第３四半期決算の総括

・第３四半期連結累計期間の業績は、連結・個別ともに2期連続で増収増益。

経済環境

・世界経済　：欧米各国でのインフレに対する金融引き締めやウクライナ・ロシア情勢の長期化による資源価格の高騰等により、景気の減速感が増す。

・国内経済　：新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動の一部停滞等もあり、景気の先行きは不透明な状況が続く。

ターゲット市場の概況

・半導体・電子部品市場　：当連結会計年度下半期より在庫調整等による影響を受ける中で推移

・産業用機器・部品市場　：液晶ディスプレイ並びに二次電池製造用途での需要が旺盛であり好調に推移

・自動車部品市場　：自動車生産の減産による影響が続くものの、底堅く推移

・衛生用品機器・医療用部品市場　：需要環境の変化や、顧客の投資抑制からの回復遅れにより、低調に推移

今後の見通し

今後の見通し　：・欧米では、資源価格の高騰や、金融引き締め政策による低成長が予測される。
・中国の景気回復に伴う日本経済の回復が期待されるものの、目先は不透明な状況が続くものと思われる。
・半導体・電子部品市場において、ハードディスクドライブ（ＨＤＤ）用磁気ヘッド基板で、データセンター向けＨＤＤの在庫調整が引き続き見込まれる。
・衛生用品機器市場においては、需要環境の変化や、顧客の投資抑制からの回復遅れにより当面厳しい状況が継続すると想定
・一方で、これまでの円安基調に伴う海外子会社の増収効果等がある

・通期業績予想　：2023年３月期通期の業績予想（2022年8月4日公表）は連結・個別ともに修正はなし。

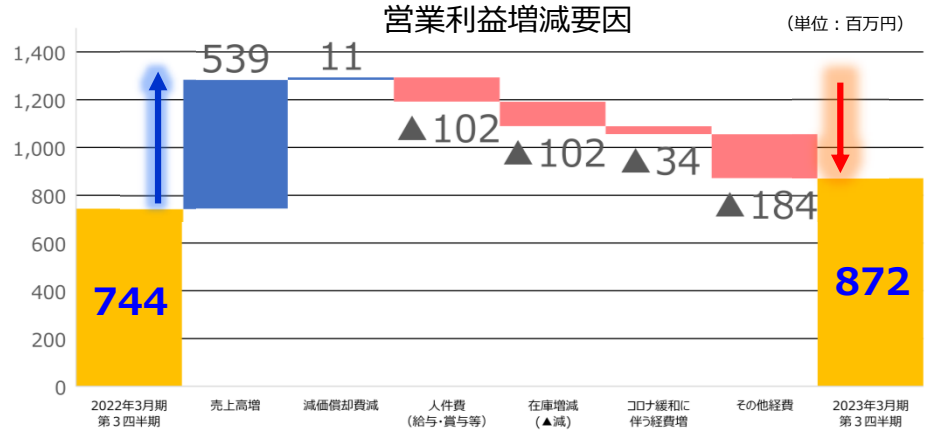
・期末配当金予想　：2023年３月期の期末配当予想（2022年9月15日公表）１株当たり60円に修正はなし。
年間配当金は、中間配当金と合わせ １株当たり120円の予想。（予想配当性向32.1%）

今後、連結及び個別通期業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表

3．連結業績の概要

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
売上高	8,837	9,812	974	11.0
営業利益	744	872	127	17.1
経常利益	962	1,090	127	13.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	704	761	56	8.1



連結売上高	**98億1千２百万円**	（前年同四半期比 11.0%増）	・新商品の積極的なＰＲ活動や、顧客からのフィードバックに基づく継続的な改善により、成長に向けた商品力の強化を推進する等、利益体質の強化に注力 ・衛生用品製造設備の部材であるＮＴダイカッターの南米再研磨拠点においては、連結子会社を清算することとし、今後は、日本・中国等のアジア地域及び欧米にリソースをシフトすることにより、事業の収益改善に向けた取り組みを進める。
営業利益	**８億７千２百万円**	（ 同 17.1%増）	・原材料価格や光熱費の上昇等の影響を受けているものの、売上高が増加したことや、減価償却費の減少、販売費及び一般管理費の比率が抑えられたこと等により、増益
経常利益	**10億９千万円**	（ 同 13.3%増）	・営業利益が増加したことによる増益要因の他、営業外損益に特段の変動はなく、増益
親会社株主に帰属する四半期純利益	**７億６千１百万円**	（ 同 8.1%増）	・各利益の増加に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比8.1%の増益

4. 主な経営指標

区分		2019年3月期 第３四半期	2020年3月期 第３四半期	2021年3月期 第３四半期	2022年3月期 第３四半期	2023年3月期 第３四半期
売上高営業利益率	（%）	**9.5**	**5.6**	**1.4**	**8.4**	**8.9**
自己資本四半期純利益率	（%）	**7.7**	**4.7**	**3.6**	**6.8**	**7.0**
１株当たり四半期純利益	（円）	**309.91**	**196.74**	**154.41**	**292.40**	**315.15**

コロナ禍以前

- 売上高営業利益率は、コロナショック後は順調に回復し、業績好調だった2018年度（2019年3月期）第３四半期の水準に近づく。
- 自己資本四半期純利益率（ROE）は７．０％となった。
- 1株当たり四半期純利益は315円15銭となり、2018年度（2019年3月期）第３四半期の水準まで回復。

5．セグメント別の状況

■ セグメント業績の概要

（単位：百万円）

		2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
機械部品事業	売上高	**4,898**	**5,561**	663	13.5
	営業利益	**751**	**788**	37	4.9
電機部品事業	売上高	**3,998**	**4,274**	275	6.9
	営業利益	**380**	**470**	89	23.6
調整額	売上高	**△59**	**△23**	35	–
	営業利益	**△386**	**△385**	0	–
全社	売上高	**8,837**	**9,812**	974	11.0
	営業利益	**744**	**872**	127	17.1

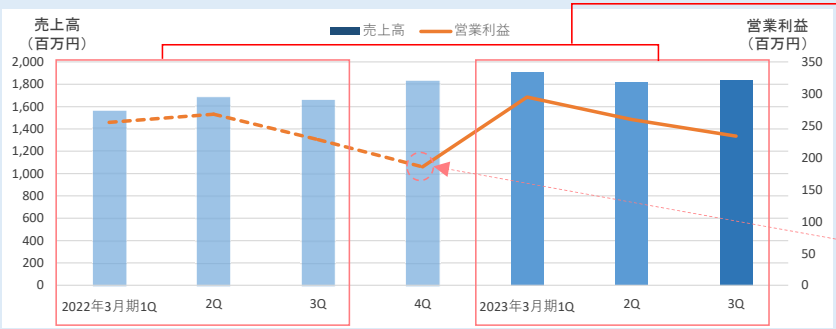
機械部品事業、電機部品事業ともに対前年同四半期比で増収増益

機械部品事業

（単位：百万円）

	2022年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年3月期 1Q	2Q	3Q
売上高	1,562	1,678	1,657	1,833	1,908	1,814	**1,838**
営業利益	255	268	228	185	294	259	**233**

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期
売上構成比	55.1%	**56.5%**
営業利益率	15.3%	**14.2%**



〔売上高〕
・対前年同四半期比では、13.5%の増加
・四半期推移では、前年度第4四半期から、連続して18億円超の水準で推移

〔営業利益〕
・対前年同四半期比で4.9%の増益
・四半期推移では、安定した利益を確保

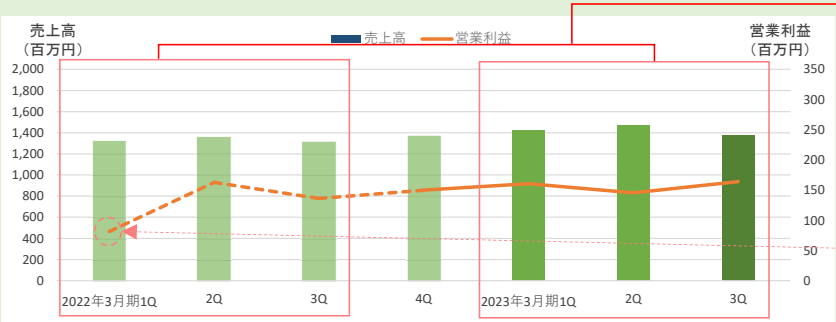
※2022年3月期第4四半期は修繕費等の増加により、他の四半期と比較し減益

電機部品事業

（単位：百万円）

	2022年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年3月期 1Q	2Q	3Q
売上高	1,324	1,356	1,317	1,368	1,425	1,468	**1,380**
営業利益	81	162	136	149	160	145	**164**

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期
売上構成比	44.9%	**43.5%**
営業利益率	9.5%	**11.0%**



〔売上高〕
・対前年同四半期比では、6.9%の増加
・四半期推移では、前第４四半期レベル

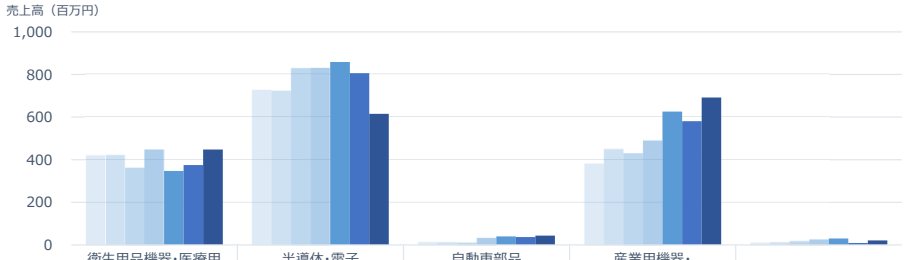
〔営業利益〕
・対前年同四半期比で23.6%の増益
・四半期推移では、安定した利益を確保

※2022年3月期第１四半期は照明用タングステンワイヤー製品の余剰在庫の処分損・評価損を織り込んだことにより、他の四半期と比較し減益

5．セグメント別の状況

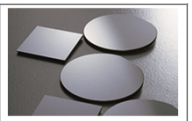
機械部品事業

■ ターゲット市場別業績・主要商品の状況

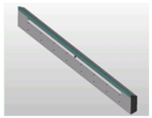


	衛生用品機器・医療用部品市場	半導体・電子部品市場	自動車部品市場	産業用機器・部品市場	その他市場
2021.1Q	421	726	15	382	12
2021.2Q	422	724	14	449	14
2021.3Q	362	828	12	430	20
2021.4Q	447	829	35	490	28
2022.1Q	347	859	40	626	30
2022.2Q	375	806	37	581	9
2022.3Q	448	615	44	692	21

NTﾀﾞｲｶｯﾀｰ



HDD用
磁気ﾍｯﾄﾞ
基板



超硬長尺
製品

・レンズ成形
用金型製品
・二軸混錬
押出機用の
金属部品

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況（前年第3四半期比）

【半導体・電子部品市場】

情報関連機器のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板

データセンター等で使用される大容量ＨＤＤの需要が一服し、当連結会計年度下半期より、在庫調整の影響を受けており、若干の減収

【産業用機器・部品市場】

塗付工具用として使用される超硬長尺製品

液晶ディスプレイ並びに二次電池製造用途での需要が旺盛であり、増収

レンズ成形用金型製品

ミラーレスカメラ用交換レンズの需要が伸長しており、増収

二軸混錬押出機用の金属部品

中国向けのリチウムイオン電池製造用途の需要が好調であり、増収

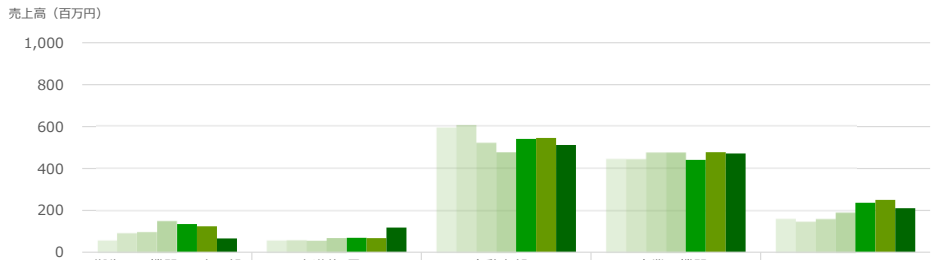
【衛生用品機器・医療用部品市場 】

NTダイカッター

需要環境の変化や、顧客の投資抑制からの回復遅れにより、低調に推移

5．セグメント別の状況

電機部品事業



	衛生用品機器・医療用部品市場	半導体・電子部品市場	自動車部品市場	産業用機器・部品市場	その他市場
2021.1Q	60	60	595	444	162
2021.2Q	94	61	605	443	149
2021.3Q	100	59	521	474	161
2021.4Q	151	71	479	474	191
2022.1Q	135	69	541	441	237
2022.2Q	124	68	546	478	250
2022.3Q	66	118	512	472	211

医療関連ｶﾃｰﾃﾙ用ﾀﾝｸﾞｽﾃﾝﾜｲﾔｰ製品

EV用接点

ﾌﾞﾚｰｶｰ用電気接点

抵抗溶接電極

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況（前年第3四半期比）

【自動車部品市場】

ＥＶ用接点

半導体不足による自動車生産の減産が継続しており、減収

電装部品溶接用の抵抗溶接用電極

中国向けの需要が回復傾向なものの、若干の増収に留まる

【産業用機器・部品市場】

産業用設備向けのブレーカー用電気接点

中国向けの工作機械用途の特需により、増収

【衛生用品機器・医療用部品市場 】

医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品

当連結会計年度上半期の好調後も底堅く推移しており、増収

6．財務の状況（連結）

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期 第3四半期	対前年比 増減額
総資産	**16,446**	**16,970**	523
負債	**5,709**	**5,634**	△75
純資産	**10,736**	**11,336**	599

主な経営指標

	2022年3月期	2023年3月期 第3四半期
自己資本比率（%）	65.2	**66.7**
1株当たり純資産（円）	4,447.51	**4,683.05**

	主な増加要因 （単位:百万円）	主な減少要因 （単位:百万円）
総資産　169億７千万円 (前連結会計年度末比５億２千３百万円増)	現金及び預金　＋248 売上債権　＋191 棚卸資産　＋113 投資有価証券　＋156	有形固定資産　△142
負債　56億３千４百万円 (同７千５百万円減)	仕入債務　＋46 繰延税金負債　＋133	未払法人税等　△253
純資産　113億３千６百万円 (同５億９千９百万円増)	利益剰余金　＋446 その他有価証券評価差額金　＋59 為替換算調整勘定　＋78	－

７．今後の見通し

経済環境の見通し

・欧米では、資源価格の高騰や、金融引き締め政策による低成長が予測される。
・中国の景気回復に伴う日本経済の回復が期待されるものの、目先は不透明な状況が続くものと思われる。

当社グループの見通し

・半導体・電子部品市場　　ハードディスクドライブ（ＨＤＤ）用磁気ヘッド基板が、データセンター向けＨＤＤの在庫調整が引き続き見込まれる。

・衛生用品機器市場　　需要環境の変化や、顧客の投資抑制からの回復遅れにより当面厳しい状況が継続すると想定。

一方で、これまでの円安基調に伴う海外子会社の増収効果等がある。

2023年３月期の通期業績予想

・2022年８月４日に公表した2023年３月期の連結及び個別通期業績予想値及び2022年９月15日に公表した配当予想は変更しない。
・今後、連結及び個別通期業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する。

2023年３月期の連結業績予想（2022年４月１日～2023年３月31日）　(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	**12,700**	**5.5**	**1,050**	**14.9**	**1,260**	**1.7**	**900**	**3.4**	**373.17**

配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年３月期	－	**50.00**	－	**70.00**	**120.00**
2023年３月期	－	**60.00**	－		
2023年３月期(予想)				**60.00**	**120.00**

業績の推移（連結）

1．業績の推移（連結）

経営成績（連結）

（単位：百万円）

区分	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期
売上高	9,509	8,790	7,182	8,837	9,812
営業利益	908	490	97	744	872
経常利益	1,039	654	344	962	1,090
親会社株主に帰属する四半期純利益	751	479	372	704	761
純資産	9,979	10,303	10,243	10,472	11,336
総資産	15,996	16,539	14,974	15,755	16,970

経営指標（連結）

区分		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期
売上高営業利益率	（%）	9.5	5.6	1.4	8.4	8.9
自己資本比率	（%）	62.2	62.2	68.3	66.4	66.7
1株当たり純資産（BPS）	（円）	4,100.62	4,218.13	4,248.09	4,337.86	4,683.05

ご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。